総合的な学習の時間学習指導案

廿日市市立地御前小学校　　岡本　美香

1　期　間　平成 30 年９月５日～平成 30 年 12 月 19 日
2　学　年　第３学年
3　単元名　「地御前のすてきをみつけようパート２」
4　本単元で育成すべき資質・能力
①知識及び技能　②思考力・判断力・表現力　③課題を見付ける力　④見通しをもって解決する力
⑤よさに気付く力
5　単元設定の理由
（１）単元の目標
歴史ある地域の昔の様子について調べたり伝えたりする活動を通して，見付けた課題の解決に向けて見通しをもって粘り強く取り組み，地域のよさに気付く。

（２）児童の実態
本学級の児童は，１学期の学習として，社会科「わたしたちのまちのようす」「わたしたちの市のようす」と総合的な学習の時間「地御前のすてきをみつけようパート１」の学習を行った。実際に地域を探検して現在の地域の様子を調べ，そのよさについて気付いたことをまとめたり，伝え合ったりする活動を意欲的に行い，地域に対する興味や関心を高めてきた。
実態調査アンケートから，本学級のほとんどの児童が地御前の地域のことが好きだと感じており，８割以上の児童が地域に対して関心があると答えている。総合的な学習の時間に関しては，９割の児童が「授業では，解決しようとする課題について，なぜだろう，やってみたいと思う」の質問に肯定的に回答している。しかしながら，「授業では，計画したりやってみようと考えたりしたことについて実際に取り組んでいる」「学習の振り返りをするときには，どこまで分かったか，学習でうまくいったことや失敗したことなどの理由を考えている」と捉えている児童は約５割に留まっている。これらのことから，児童の地域や総合的な学習の時間の学習に対する関心は高いが，課題の解決に向けて計画を立てて実行したり，学習の成果や課題を考えたりして主体的に学習に取り組みにくい児童が多いことが分かる。

（３）単元について
本単元は，学習指導要領解説総合的な学習の時間編「地域や学校の特色に応じた課題」に基づき，１学期の「地御前のすてきをみつけようパート１」の学習から発展し，地域の昔の様子について調べて伝える学習に取り組む。
児童は，地域のために自分にできることをしたいと感じている。現在に至るまでの地域の様子や地域に対する人々の思いに触れ，「地御前の昔の様子を調べて伝える」という課題とともに目的をもって聞き取りや資料による調べ学習を行う中で，児童は探究的に学びながら地域への愛着を深めることができると考え，この単元を設定した。

（４）指導に当たって
指導に当たっては，次の３点の工夫を行う。
・課題が探究的なものとなるよう，単元の導入では現在と過去では地形を始めとしたたくさんの違いがあることに気付くとともに，地域のお年寄りの「地御前の昔の様子を知り，伝えていってほしい」という願いを知る場を設定する。これにより，児童は自らが見付けた課題の解決に対する意欲を高めるだけでなく，目的や価値を実感し，課題解決後のイメージをもって取り組むことができるようになる。
・見通しをもって学習に取り組み，成果や課題を明らかにしながら探究的な学習を進めていくために，学びのモデル「じごぜん小学校」に沿って児童と共に学習の計画を立て，計画に沿って学習の過程を把握しながら活動を進めていくことができるようにする。
・ルーブリックを作成し児童と共有した上で学習に取り組んだり振り返りを行ったりすることによ

り，学習のめあてを明確にしたり，めあてに対する成果や課題を具体的に振り返ってさらなる学習について考えたりすることができるようにする。

6　単元の評価規準とルーブリック

（1）単元の評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	課題を見付ける力	見通しをもって解決する力	よさに気づく力
① 地域のくらしは，周辺の環境など様々な要因で変化しながら，人々の思いや願いによって支えられ，多種多様に存在していることに気付く。 ② 見付けた地域の課題について，得た情報を整理したり分類したりして解決に向けて取り組む。	① 収集した「昔のすてき」から，相手に応じた情報と伝え方を選ぶ。 ② 「昔のすてき」を伝えるための工夫を考え，相手に応じた効果的な方法で表現する。	① 地御前の昔と今の違いや疑問から，調べたいことや地域における自己の役割を見付ける。 ② 「地御前のすてきをみつけようパート２」の学習を基に，これから取り組むべき課題を見付ける。	① 地御前の昔の様子について，何を，どんな方法で調べ，誰に，どんな方法で伝えるかを考え，見通しをもって課題の解決に取り組む。 ② 学習を具体的に振り返り，その根拠や次の学習や生活で生かしたいことを明らかにする。	① 「地御前の昔のすてき」を見付けて伝える活動を通して，互いの考えの相違点や共通点に注目することで自他のよさに気付く。 ② 「地御前の昔のすてき」を見付けたり伝えたりする活動を通して，地域のよさに気付く。

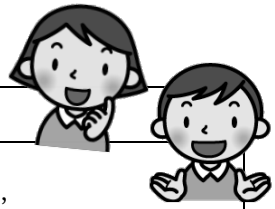
（2）指導者用ルーブリック

資質・能力		評価C	評価B	評価A
課題を見付ける力	①	・地御前の昔と今の違いや疑問を見付ける。	・地御前の昔と今の違いや疑問から，調べたいこと又は地域における自己の役割を見付ける。	・地御前の昔と今の違いや疑問から，調べたいことと地域における自己の役割を見付ける。
	②	・他者との学びの中で，本単元の学習を基に，これから取り組むべき課題を見付ける。	・本単元の学習を基に，これから取り組むべき課題を見付ける。	・本単元の学習を基に，これから取り組むべき課題を根拠とともに見付ける。
見通しをもって解決する力	①	・地御前の昔の様子について，誰に，どんな方法で伝えるのがよいか考える。	・地御前の昔の様子について，誰に，どんな方法で伝えるのがよいかを理由とともに考える。	・地御前の昔の様子について，誰に，どんな方法で伝えるのがよいかを，ゴールイメージに対応させたその方法にしかない具体的な理由とともに考える。
	②	・本単元の学習のめあてが達成できたかどうかについて根拠をもって判断する。	・本単元の学習のめあてが達成できたかどうかについて根拠をもって判断する。 ・探究の過程において，特に成果があった活動とそうでなかった活動について根拠や改善策とともに明らかにする。	・本単元の学習のめあてが達成できたかどうかについて根拠をもって判断する。 ・探究の過程において，特に成果があった活動とそうでなかった活動について根拠や改善策とともに明らかにする。 ・本単元の学習をどのように生かすことができるかを明らかにする。

（3）児童提示用ルーブリック

資質・能力		▲	○	◎
課題を見付ける力	①			自分たちの役割
			調べたいこと 又は自分たちの役割	調べたいこと
		ちがい・ふしぎ	ちがい・ふしぎ	ちがい・ふしぎ
	②			なぜ（理由）
			これから取り組むこと	これから取り組むこと
		友だちの考えをもとに これから取り組むこと		
見通しをもって解決する力	①			(相手のことを考えた) その方法にしかない くわしいよさ（理由）
			その方法のよさ（理由）	
		相手・方法	相手・方法	相手・方法
	②			どう役立つかが言える
			うまくいった活動・うまくいかな かった活動とその理由が言える	うまくいった活動・うまくいかな かった活動とその理由が言える
		達成できたかどうかと その理由が言える	達成できたかどうかと その理由が言える	達成できたかどうかと その理由が言える

7　学びのモデル「じごぜん小学校」



学習過程		学習活動	児童の意識
問題発見・課題設定	じ	・自分たちで問題に気付き，課題を見付けよう	すごいな，　なぜだろう，　困ったな， 調べてみよう，　もっとよくしたいな， 役に立ちたいな
	ご	・ゴールイメージをもち，課題を決めよう	こうなってほしい，　～したら･･･なるはずだ， ～の役に立てる，　行動しなくては
	ぜん	・全体を見通し，学習の計画を立てよう	何をしたらよいかな， どのように発信したらよいだろう， どのように進めたらよいかな， 前の学習で使えることはないかな
情報収集・整理・分析	し	・しらべよう	どうやって調べようか（何を・どんな方法で）， わかったぞ，　もっと知りたいな， もっと調べなければならないな， これではうまく調べられないな，　調べ方を変えよう
	よ	・よみとろう	どの情報が使えるかな，　どうしてだろう， 比べてみよう，　どんな関係があるかな， 理由がわかったぞ，　本当かな， もっと調べる必要があるな， これではうまくいかないな，　方法を変えてみよう
	う	・うみだそう 自分の考え・行動	調べたことからどんなことが言えるかな， どんなことができるかな， 自分の考えは正しいかな， 友達はどのような考えをもっているかな， 試してみたいな
まとめ・表現	学	・学習をまとめ，発信しよう	どんなまとめ方がよいかな，　正しく伝わるかな， どうすれば分かりやすく伝えられるかな， もっとうまく伝えたいな，　説得できるかな
振り返り	交	・効果・成果や課題を振り返り，次の目標をもとう	ゴールに到達できたかな， うまくいった（いかなかった）ことは何かな…なぜだろう， 次は～をがんばりたいな，　～の方法は～に生かせるな， これからどんなことができるかな

8　単元の計画（全 27 時間）

過程（時数）		学習活動の内容（時数）	予想される児童の反応	○評価と【方法】
問題発見・課題設定（６）	じ	○地御前の昔の様子に興味や関心をもつ（２） 検証授業①		
		・昔の様子について知っていることを話し合う。	昔は，バイパスが無かったらしいよ。 学校の前の道にたくさんのお店があったらしいよ。	○課題を見付ける力① 【ワークシート】 【発言】
		・今と昔の地御前の地図を比較し，違いや不思議を見付ける。	これが地御前なの？道がないよ。 神社の前まで海だったの? 今，海でなくなったのはなぜかな？ 家が少ないのはなぜか？ 自分たちの今の生活と比べてみよう。 昔は，どんな遊びをしていたのかな。 どんな勉強をしていたのかな。 何がはやっていたかな。 昔は，どんな物を食べていたのかな。	
		・地域の人の思いを知る。	昔のことを伝えてほしいんだね。	
		・自分たちの役目が何かを考える。	僕らが伝えていかなければいけないね。 地域の人の役に立ちたいね。	
	ご	○課題解決後のイメージを明確にして課題を設定する（１） ・何のために取り組むのか考える。	地御前の昔のことを知らない人に伝えよう。 みんなに，もっと地御前のことを知ってほしいね。	
		・何に取り組むのか考える。	地御前の昔のことを調べよう。 知らない人に伝えよう。	
		・自分たちの学習がどのように役立つかを考える。	地御前のことに詳しくなれるね。 家族に教えてあげられるよ。 地御前のことをずっと伝えられるね。 おじいちゃんたちの願いもかなえられる。	
		・課題を設定する。 地御前の昔のすてきを調べて伝えよう		
	ぜん	○全体を見通し，学習計画を立てる（３） ・大まかな学習の流れを捉える。	今，「じごぜん小学校」学びの「ご」まで終わって，「ぜん」だね。 「し」では，昔のことを調べよう。 グループに分かれてまとめたいね。 図書室でも調べられるかな。 家族や地域の人にインタビューしよう。 「よ」では，調べたことを整理するんだね。	
		・伝える相手や伝える方法について話し合う。 検証授業②	お父さんやお母さんに教えたいな。 ２年生にも紹介したいな。 わかりやすく伝えたいな。 紙芝居なら，絵とお話で伝えられるな。 クイズなら，大勢で楽しめるな。 パンフレットなら，自由に取ってもらえるな。 下学年は，クイズが楽しくて分かりやすそうだな。 観光客は，パンフレットなら自由に取って持ち歩いてくれそうだな。	○見通しをもって解決する力① 【ワークシート】 【発言】

過程（時数）		学習活動の内容（時数）	予想される児童の反応	○評価と【方法】
情報収集（5）	し	○情報を収集する（5） ・情報を集めるための準備をする。	何を質問するか，個人で考えよう。 考えた質問を班で交流し，関係のある質問をグループに（グルーピング）して，どの質問をするか選ぼう。 選んだ質問をどの順で質問するか決めよう。 質問に対して，答えを予想しよう。 地図や写真を用意しておいてはどうかな。	○知識及び技能② 【発言】 【行動観察】 【成果物】
		・情報を収集する。 聞き取り（家族・ゲストティーチャー等） 資料（写真・地図・本・道具等）	地域の人にインタビューしよう。 大切なことはメモしておこう。	○知識及び技能① 【ワークシート】 【行動観察】
整理・分析（3）	よ	○整理・分析する（1） ・情報の整理の仕方を考える。	質問に対する答えや関係のある事柄について，メモをもとに整理しよう。 自分が予想していた答えと比べてみよう。	
		・必要な情報を選び，整理する。	特に大事なことはどれかな。 こんな理由があったんだね。 ほかのグループが調べたことも聞きたいな。 そんなことがあったんだね。すごいな。	○知識及び技能① 【ワークシート】 【発言】
		（○情報収集 ・不足する情報等を必要に応じて再収集する。）	もう少し詳しく聞きたいな。 もう一度教えてもらおう。	
	う	○自分の考えをもつ（2） ・交流により，自分の考えをもつ。	今とは全然違っていたんだな。 これは，今と似ているね。 自分たちで工夫していたんだな。 自分もやってみたいな。 地御前の昔のすてきってどんなところだろう。 知ったことを伝えたいな。 地御前の昔のすてきを伝えたいな。	○よさに気付く力② 【ワークシート】 【発言】
		・伝える相手・方法を決める。	自分たちが調べたことは，誰に伝えるのがよいかな。 自分たちが調べたことは，どうやったら分かりやすく伝えられるかな。	○思考力・判断力・表現力① 【ワークシート】 【発言】 【行動観察】
まとめ・表現（10）	学	○学習してきたことをまとめる（7） ・分かりやすくまとめる。	言葉だけよりも，物を使ったり見せたりすると分かりやすいね。 説明も入れないと伝えられないな。 役割を分担するといいね。	○思考力・判断力・表現力② 【成果物】 【行動観察】 【ワークシート】
		○発信する（3） ・工夫を考える。 ・発信するための準備をする。 ・発信する。	どんな工夫をするとよいかな。 お互いにアドバイスし合おうよ。 質問が出るかも知れないね。 質問にも答えられるようになりたいね。 相手に分かりやすく伝えたいな。	○思考力・判断力・表現力② 【行動観察】 【成果物】 【ワークシート】

過程 (時数)		学習活動の内容（時数）	予想される児童の反応	○評価と 【方法】
振り返り（３）	校	○振り返る（３） 検証授業③ ・活動全体を振り返り，効果・成果や課題とその根拠を明らかにする。 ・次の学習や生活への目標をもつ。 ・対話を行い，自らの学習の成果や価値，今後の見通しを共有する。	役目を果たすことはできたかな。 詳しく説明できたのは，しっかりインタビューできたからだな。 ２年生が驚いていたのがうれしかったな。 知らないことを教えてあげられたね。 ○○さんの工夫がよかったから，今度は真似したいな。 次は，もっと上手にまとめられるようになりたいな。 他にももっと調べてみたいな。 もっとたくさんの地域の人たちにも知ってもらえる方法はないかな。 お世話になったおじいちゃんたちにお礼を言いたいな。報告もしたいな。 今度は○○についての話も聞いてみたいな。 教えてもらった方法を家でもやってみようと思うよ。 どんな成果があったかな。これはうまくいったな。 次は，○○を頑張りたいな。 自分にはこんなことができたのだな。 自分の取組には，こんな意味があったのだな。 もっと取り組みたい課題が見付かったぞ。 自分が取り組んだことは間違っていなかったのだな。 やる気がわいてきたぞ。	○見通しをもって解決する力② 【振り返りカード】 【過去のワークシート】 【発言】 【対話】 ○課題を見付ける力② 【振り返りカード】 【過去のワークシート】 【発言】 【対話】 ○よさに気付く力① 【友だちへのカード】

9　本時の学習

第１・２時

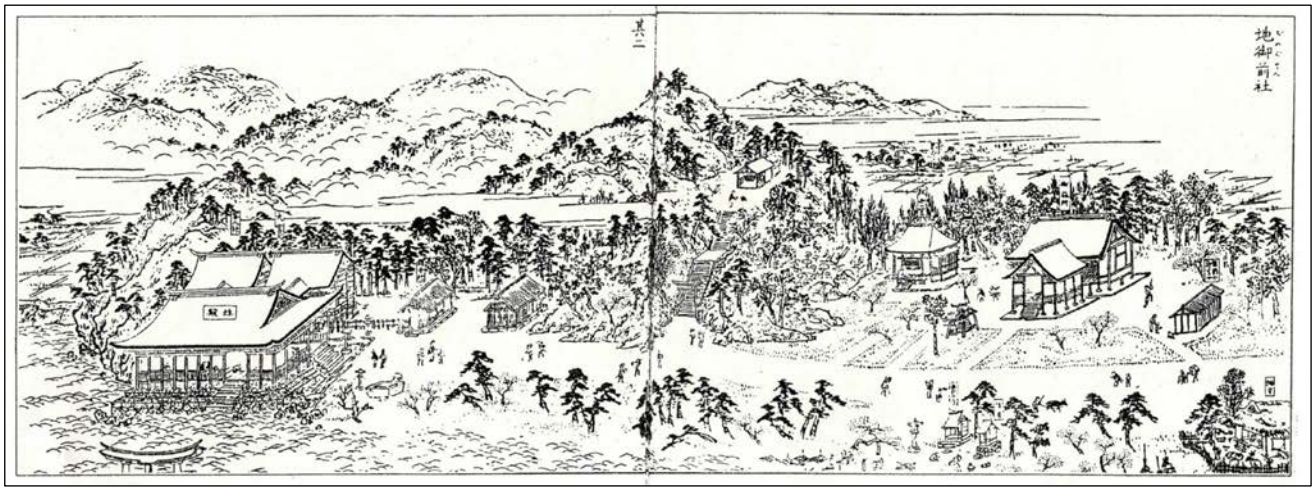
（1）本時の目標

地御前の昔と今の違いや疑問を見付け，調べたいことや地域の一員としての自らの役割に気付くことができる。

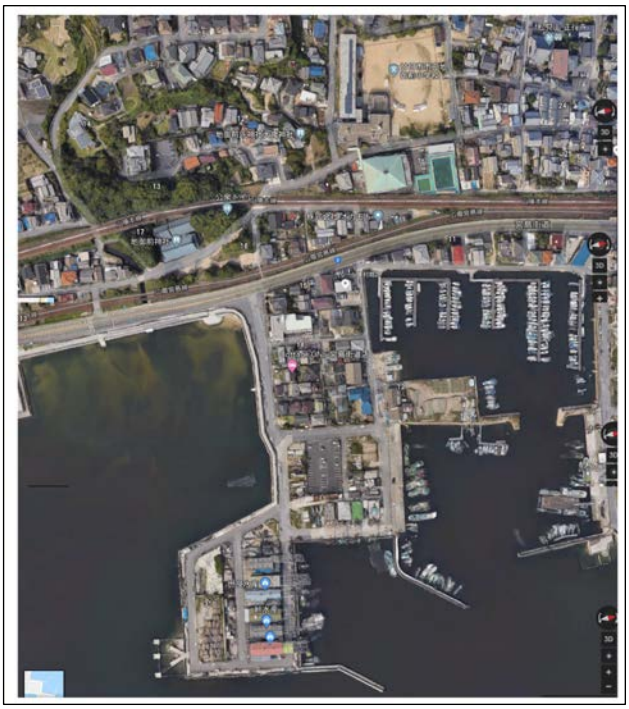
（2）学習の展開

主な学習活動	指導上の留意点（○） 児童への支援（◆）	○評価 【方法】
1　地御前の昔の様子について知っていることを話し合う。	○昔の様子について知っていることを発表させることで，地御前の昔について興味をもたせる。	
・昔の絵図を提示し，描かれている場所が地御前であることに気付かせる。	○４枚からなる昔の地御前の絵図を，１枚ずつ黒板に提示することで児童の関心を高める。	
2　めあてを確認し，ルーブリックを共有する。 地御前のむかしと今のちがいやふしぎを見つけて，調べたいことや自分たちの役目を考えよう。 【本時のルーブリック】 ▲：ちがい・ふしぎ ○：▲＋調べたいこと又は自分たちの役割 ◎：▲＋調べたいこと＋自分たちの役割	○本時の流れとルーブリックを共有し，めあてや振り返りの目標にすることを確認する。	
3　地御前の昔と今の違いや不思議を見付ける。 ・ワークシートに書き出す。 ・ペアで交流した後に，全体で交流する。 ・昔は家が少ない。 ・今は道路や線路があるけれど，昔はなくて海が神社の近くまできている。 ・今は家になっているところが，昔は山だった。 ・車が走っていない。 ・大きい建物がない。 ・今と昔では，道路の場所が違う。 ・昔の絵には学校がない。 ・昔は小さい船が浮かんでいる。	○昔の絵図と現在の地図を個々に配付し，比較させる。 ◆机間指導により，指導者が現在の場所を示し，児童に昔の場所を探して対応させる。 ◆友だちの気付きで参考になるものは，㋣として加筆することを促す。 ◆友だちが見付けた違いや不思議も確かめさせる。	○課題を見付ける力① 【ワークシート】 【発言】
4　調べたいことを見付ける。 ・文末を「～なのか」としてワークシートに書き出す。 ・ペアで交流した後に，全体で交流する。 ・どうして海が近くまできていたのか。 ・どうして学校がないのか。 ・学校へ行っていなかったのか。 ・家が少なかったのはどうしてなのか。 ・どうやって移動していたのか。 ・船は何に使っていたのか。 ・いつから道や線路ができたのか。 ・昔はどんな家に住んでいたのか。	◆違いや不思議を参考にさせる。 ○児童の発言をイメージマップ状に板書し，全体で共有する。	○課題を見付ける力① 【ワークシート】 【発言】

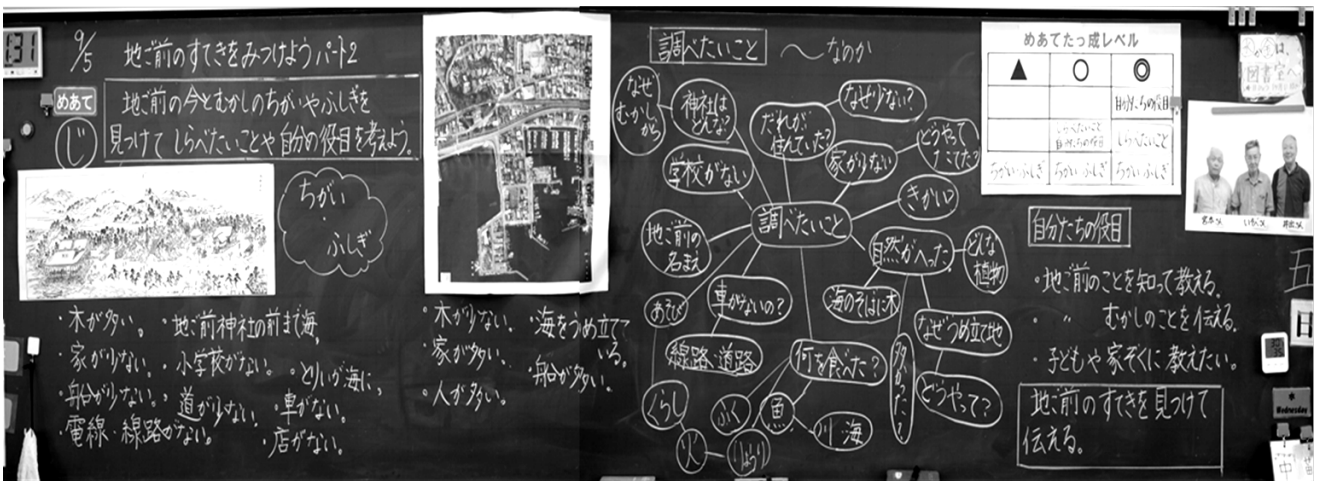
5　地域の人から届いたメッセージを聞き，地域の人の思いを知る。 地域の人の思い ・地御前は，すごく昔から人が住んでいて，長い歴史がある場所。 ・昔は今と違うことがたくさんあって，時間と共に少しずつ変わりながら今がある。 ・昔も今も地御前が好きです。でも，昔と今では違っていること，昔の地御前がどんな様子だったかを知っている人は少なくなり，知らない人が増えてきました。 ・みんなは今の地御前のすてきを見付けていると聞いたので，ぜひ昔の地御前のことも知ってほしい。そして，もっと地御前のすてきを見付けてほしい。そして，伝えていってほしい。 ・協力するので，何でも相談してください。	○地域の人の写真とともにメッセージを紹介することで，印象付け，自分事として捉えやすくする。 ○地域の人の思いが児童に伝わりやすくするために，思いを要約したメッセージとして紹介する。 ○メモをとってもよいこととする。	
6　自分たちの役目が何かを考え，ワークシートに記入する。 ・おじいちゃんたちは，昔のことも知ってほしいんだな。 ・昔の地御前がどんな様子だったかを知りたいな。 ・昔のことを自分たちが知って，教えてあげないといけないな。 ・自分たちが伝えないと，知らない人ばかりになってしまうな。 ・ペアで交流した後に，全体で共有する。 地御前のむかしのすてきをみつけて，伝えたい。	◆地域の人のメッセージを参考にさせる。	○課題を見付ける力① 【ワークシート】 【発言】
7　本時の学習を振り返る。 ・自己評価 ・今日の学習で驚いたことやこれから頑張りたいこと	○ルーブリックとワークシートによる学習の様子とを照らして，自己評価させる。	
8　次時の見通しをもつ。 ・次時では，自分たちの学習が地域のためにどのように役立つのかを考え，話し合う。	◆今日の学習で心に残ったことを記述させる。	



江戸時代頃の地御前の絵図　出典：地御前市民センター所蔵資料



現在の地御前の航空写真
出典：Google マップ https://www.google.co.jp/maps



授業後の板書

第３時

（１）本時の目標

自分たちが昔の様子を調べて伝えることができた状態をゴールイメージとして明らかにし，自分たちの学習がどのように地域に役立つのかを考えることができる。

（２）学習の展開

主な学習活動	指導上の留意点（○） 児童への支援（◆）	○評価 【方法】
1　前時を想起し，本時のめあてを確認する。 自分たちの学習が，地御前のためにどのように役立つのか考えよう。 2　ルーブリックを共有する。 【本時のルーブリック】 ▲：友だちの考えから「なぜ伝えるのか」「どのように役立つのか」見付ける。 ○：「なぜ伝えるのか」又は「どのように役立つのか」のどちらか一方を自分で見付け，もう一方を友だちの考えから見付ける。 ◎：「なぜ伝えるのか」「どう役立つのか」の両方を自分で見付ける。	○地御前の昔のすてきを見付けて伝えることが自分たちの役目であることに気付いたことを想起させる。 ○前時の学習内容をまとめ，掲示しておく。	
3　なぜ，すてきを見付けて伝えるのか考えワークシートに記入して，話し合う。 ・昔のことを自分たちが知って，教えてあげないといけないな。 ・自分たちが伝えないと，知らない人ばかりになってしまうな。 ・地御前の昔のことを知って，伝えられる人になりたい。	◆地域の人のメッセージを思い出させる。	
4　自分たちの学習がどのように役立つのか考えワークシートに記入して，話し合う。 ・知らないことを知ったらうれしい。 ・どんどん知らない人に教えてあげることができるから，知っている人が増える。 ・行ったときや見たとき，昔のことを思い浮かべたら楽しいのではないかな。 ・知っている方が大事にできるかもしれない。	○自分たちの学習活動が，地御前の地域の人たちにとってどのように役立つかを意識させる。	
5　本時の学習を振り返る。 ・自己評価 ・今日の学習をして感じたこと	○ルーブリックに対応させる。 ◆友だちの考えで良いなと思ったことを記述してもよいことを伝える。	
6　次時への見通しをもつ。 ・次時では，学習を進めるための計画をする。	○計画して活動することが必要であることに気付かせる。	

第４時

（１）本時の目標

学習を進めるために，どのようなことに取り組む必要があるか，またどのような順序で取り組まなければならないかを考え，今後の学習に対する見通しをもつ。

（２）学習の展開

主な学習活動	指導上の留意点（○） 児童への支援（◆）	○評価 【方法】
1　前時を想起し，本時のめあてを確認する。 どんな活動をどんな順で進めたらよいか考え，学習の計画を立てよう。	○地御前のすてきを見付けて伝えることが自分たちの取り組むべきことであることを想起させる。 ○前時の学習内容をまとめ，掲示しておく。	
2　ルーブリックを共有する。 【本時のルーブリック】 ▲：必要な活動を０～２個見付ける ○：３～４個見付ける ◎：５個以上見付ける		
3　どんな活動をしなければいけないか考え，話し合う。（個人→グループ→全体） ・昔のことをインタビューして調べないといけないな。 ・どんなことを調べるか，決めなくてはいけないな。 ・伝えるための練習や準備をしなければいけないな。 ・誰に伝えるかを決めなくてはいけないな。 ・どんな方法で伝えるか，考えなくてはいけないな。	○学びのモデル「じごぜん小学校」を参考にさせる。 ○付箋に書き出してワークシートに貼らせる。 ◆２年生の時，「動物クイズ」を１年生に紹介する際，どのような手順で行ったかを思い出させることでイメージをもたせる。 ◆友だちの考えで取り入れたいものは加筆するよう促す。	
4　学習を進めるためには，３で出た活動をどのような順で取り組むのがよいか考え，話し合う。（個人→全体） ・調べる前に，調べ方や，何を調べるかを考えておかなければいけないね。 ・誰に伝えるのかを決めないといけないよ。 ・先に伝える相手を決めてからの方が，相手にあったことを調べることができるのではないかな。 ・いきなりは伝えられないから，調べた後は，伝えるための準備や練習をしないといけないね。 ・最後に全体を振り返ると，次の学習に役立つのではないかな。	○出てきた意見は可動式の短冊に記入し，黒板に貼る。 ○学びのモデル「じごぜん小学校」を参考にさせる。 ○ワークシート上で，付箋の並び替えをさせ，順序をイメージさせる。 ◆「･･･と～なら，どっちを先にする？」「それはどうして？」などと声かけをし，手順やその理由に気付かせる。 ○活動の順序について全体で話し合い，黒板で可動式の短冊を移動させながら共有する。 ○ルーブリックに対応させる。 ○今日の学習が，これからの学習にどのように役立ちそうか考えさせる。	
5　本時の学習を振り返る。 ・自己評価 ・今日の学習をして感じたこと		
6　次時への見通しをもつ。 ・伝える相手や方法について話し合う。		

第５・６時

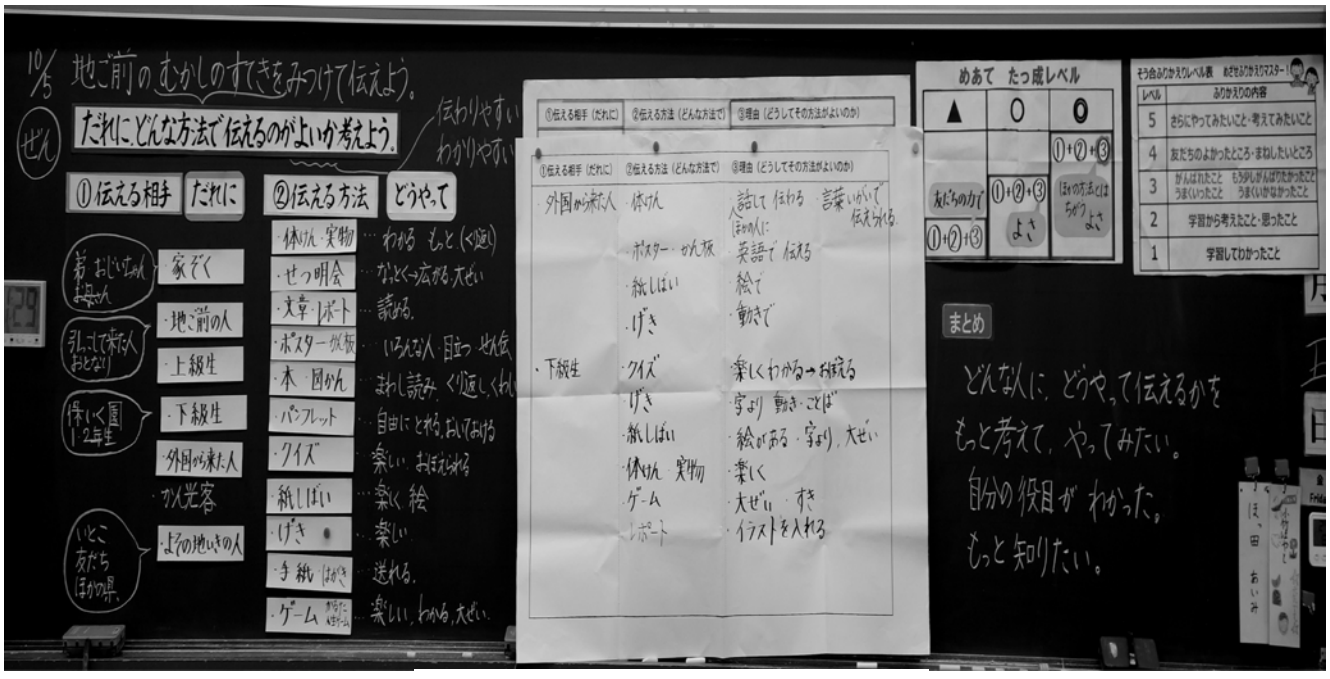
（１）本時の目標

「地御前の昔のすてき」について調べたことを，誰に，どんな方法で伝えることができるかを考え，学習に対する見通しをもつことができる。

（２）学習の展開

主な学習活動	指導上の留意点（○） 児童への支援（◆）	○評価 【方法】
1　前時を想起し，本時のめあてを確認する。 「地御前のむかしのすてき」をだれに，どんな方法で伝えるのがよいか考えよう。	○学習の大まかな計画を立てたことを想起させる。 ○前時の学習内容をまとめ，掲示しておく。	
2　誰に伝えるのがよいか考えて，共有する。（個人→ペア→全体） ・昔のことを知らない人に知ってもらわないといけないから，知らない人でないといけないね。 ・自分より下級生に伝えたいな。 ・ぼくのお母さんは，他の地域の出身だから，お母さんは知らないと思うから，伝えたいな。 ・他の学年の人に知ってほしいな。 ・世界の人に知ってもらって，地御前を有名にしたいな。	○何のために伝えるのかを想起させることで，知らない人たちに知らせることが課題の解決につながることを捉えさせる。 ◆身近な人で，地御前の昔のことを知らない人が誰を考えさせる。 ○挙げられた相手について，「家族」「下級生」「地域の人」「外国の人」などでグルーピングする。	
3　伝えるためには，どんな方法があるか考えるとともに，それぞれのよさを共有する。 （個人→ペア→全体） ・ポスター　・クイズ　・壁新聞 ・説明会　・体験会　・インターネット ・本（図鑑）　・写真　・紙芝居 ・ポスターは，たくさんの人が見てすぐに分かるな。 ・クイズは，一緒に楽しめるな。 ・壁新聞は，貼っておいたらたくさんの人がいつでも見られるな。絵も入れられるな。 ・説明会は，身振りや手振りを付けながら直接話せるな。質問にも答えられるな。 ・体験会をしたら，直接わかってもらえるな。 ・インターネットだったら，よその地域の人にも伝えられる。 ・本（図鑑）にしたら，みんなのをまとめられるな。 ・写真があったら想像しやすいな。 ・紙芝居なら，お話と一緒に伝えられるな。	○伝えるための方法がたくさんあり，それぞれに対象や理解のしやすさなどで特徴があることに気付かせる。	
4　ルーブリックを共有し，相手にとってどんな方法で伝えることがよいか，理由とともに考えてワークシートに記入し，話し合う。（個人→グループ→全体）	○伝える方法がたくさんある中から，相手に合った伝え方や，自分たちにできる伝え方を考えていくことが必要であることを確認する。	○見通しをもって解決する力① 【ワークシート】 【発言】

【本時のルーブリック】 ▲：自分で伝える「相手」及び「方法」を見付け，友だちの考えを基に「その方法のよさ」を見付ける。 ○：自分で伝える「相手」及び「方法」，「その方法のよさ」を見付ける。 ◎：自分で伝える「相手」及び「方法」，「ほかの方法とは違うその方法のよさ」を見付ける。 ・地域の人には，新聞がよいと思う。そうすれば，たくさんの人に読んでもらえると思う。 ・よその地域の人には，インターネットがよいのではないかな。 ・下級生には，クイズがよいのではないかな。楽しいし，わかりやすいと思うな。 ・他の学年には，発表をしに行きたいな。掲示しただけでは読んでもらえないかもしれないから，直接発表したいな。 ・家族へは，参観日で紹介したいな。紙芝居がいいかな，クイズも楽しんでもらえるかもしれないな。	◆どんな方法だと相手にとって分かりやすいか，当てはめながら考えさせる。 ○本時で相手と方法を決定するのではなく，方向として共有し，学習を進めていく中で具体的に選択・決定していくことを確認する。 ○同じ相手に異なる方法を考えることや，同じ方法を複数の相手に対して有効だと考えるなどの重複も認めることを確認し，交流を活性化させる。	
5　本時の学習を振り返る。 ・自己評価 ・今日の学習を通して感じたこと	○ルーブリックに対応させる。 ○課題を解決するためには，誰に伝えなければいけないのか，そしてその相手にはどんな方法で伝えるのが適切かを考える必要があることを確認する。	
6　次時への見通しをもつ。 ・次時では，役割分担等を行い，具体的に準備を進めることを確認する。		



授業後の板書

第７～９時

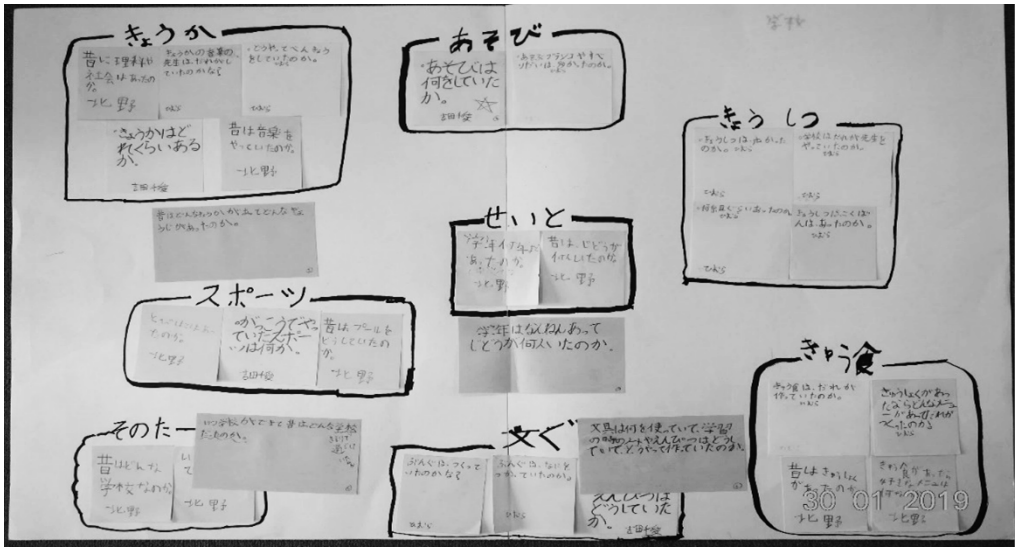
（１）本時の目標

地御前の昔の様子について調べるために，ゲストティーチャーへの質問を個人で考え，持ち寄った質問をグループで分類したり取捨選択したりすることにより，自分たちにとって収集する必要がある情報やそれを得るために必要な質問を選ぶことができる。

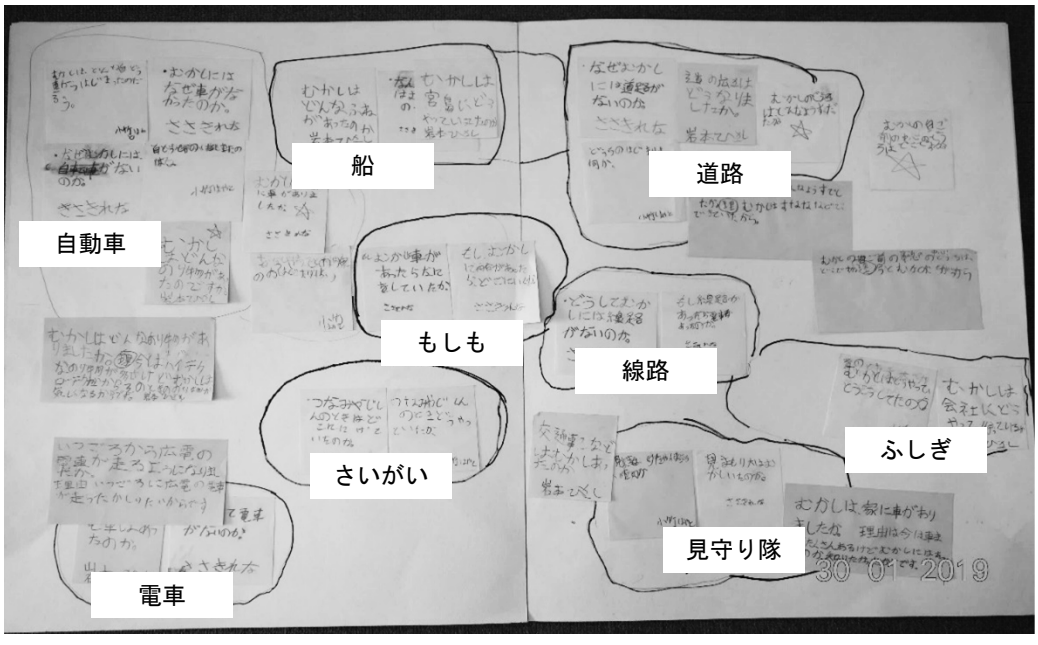
（２）学習の展開

主な学習活動	指導上の留意点（○） 児童への支援（◆）	○評価 【方法】
1　前時を想起し，本時のめあてを確認する。 調べることがらでグループに分かれ，ゲストティーチャーへの質問を考えよう。	○前時では，伝える相手と相手に合った方法を考えたことを想起する。 ○今後の活動の見通しとして，調べるカテゴリーごとに担当グループを決めて活動することを確認する。	
2　調べたいことのカテゴリーで担当者を決める。（５カテゴリー×２グループ）	○担当するカテゴリーは，できるだけ児童個人の希望を尊重し，１グループ３～５名の構成とする。	
3　ルーブリックを共有する。 【本時のルーブリック】 △：質問を１～３つ考える。 ○：質問を４つ以上考える。 ◎：基準○に加え，積極的に整理する。		
4　担当したカテゴリーについて質問を考え，ワークシート「２調べたいこと（インタビューしたいこと)」の欄に記する。(個人)	○質問文の表し方として，文の始めを「なぜ，どうして，どうやって，どんな，いつ」などにすると考えやすいことを確認する。 ◆１・２時間目で使用したワークシートや学習内容をまとめた掲示物を参考にしてよいことを伝える。	
5　４で考えた質問を各グループで交流し，質問を分類する。(グループ) ・グループで担当したカテゴリーから外れる質問を除く。 ・同じ質問や互いに関係のある質問を集め，グループ化する。	○各自が考えた質問を付箋に書き，グループごとに付箋を動かしながら質問を分類し，キーワードでネーミングする。 ◆ワークシートの記述を基に話合いに参加することを促す。	○知識及び技能② 【発言】 【行動観察】 【成果物】
6　分類した質問の中から，ゲストティーチャーに質問するものを選び，選んだ根拠を明らかにする。 ・１グループあたり，５つの質問に絞る。（１カテゴリーあたり質問数 10)	○質問数を限定し，質問を選ぶことにより，自分たちが調べて伝えることの焦点を絞らせる。 ○グループによって，質問の絞り方を選ばせる。（広く浅く，狭	

7　本時の学習を振り返る。 ・自己評価 ・学習による成果や課題 8　次時の見通しをもつ。 ・次時では，質問の答えを予想する。	く深く） ○グループごとに指導者と面談し，調べたいことがらに対し，適切な質問が選ばれているかどうか確認する。 ○ルーブリックに対応させる。	



ＫＪ法による質問のグルーピングの一例（学校の様子について調べるグループ）



ＫＪ法による質問のグルーピングの一例（交通の様子について調べるグループ）

第 10 時

（1）本時の目標

ゲストティーチャーへのインタビューに対して当事者意識をもって臨むとともに，収集した情報への理解を深めるために，質問に対する回答を事前に予想することができる。

（2）学習の展開

主な学習活動	指導上の留意点（○） 児童への支援（◆）	○評価 【方法】
1　前時を想起し，本時のめあてを確認する。 選んだ質問の答えを予想して，ゲストティーチャーへのインタビューの準備をしよう。	○前時では，グループごとに質問を選び，質問の順番を決めた。	
2　質問に対して回答を予想する目的を想起し，共有する。	◆学習計画を立てたときのことを想起させる。 ○予想をしてインタビューに臨むことで，得た情報の理解が深まる。	
3　インタビューの際に気を付けることを話し合い，共有する。 ・昔は○○するとき，どうやって□□していたのですか。 ・今は○○だけど，昔は～～～ですか。	○相手に分かりやすい質問をする。 ○知りたいことが教えてもらいやすい質問にする。	
4　ルーブリックを共有する。 【本時のルーブリック】 ▲：友だちの考えを参考にして答えを予想し，インタビューの練習をする。 ○：答えを予想し，インタビューの仕方を工夫する。 ◎：答えを予想し，インタビューの仕方を工夫したりアドバイスしたりする。		
5　グループで選んだ質問に対して自分なりの予想をもち，ワークシート「２調べよう①しつ問②予想」の欄に記入する。	◆友だちの予想を参考にして自分の予想を考えてよいことを伝える。	
6　グループ内で，互いの予想を交流する。		
7　インタビューの練習を行い，グループ内でアドバイスし合う。	○相手を意識したり，情報を得やすい質問の仕方をしている児童を紹介したりして，参考にさせる。	
8　本時の学習を振り返る。 ・自己評価 ・学習による成果や課題	○ルーブリックに対応させる。	
9　次時の見通しをもつ。 ・次時では，実際にゲストティーチャーにインタビューを行い，情報を収集する。	○インタビュー以外にも自分でできる情報収集に取り組むよう促す。	

第11・12時

（1）本時の目標

ゲストティーチャーにインタビューして必要な情報を集め，インタビューで得た情報を正しく把握したり整理したりすることができる。

（2）学習の展開

主な学習活動	指導上の留意点（○） 児童への支援（◆）	○評価 【方法】
1　前時を想起し，本時のめあてを確認する。 地域の方に地御前のむかしのすてきについてインタビューし，教えてもらったことを整理しよう。	○質問やそれに対する予想を基に，知らなかった昔のすてきをたくさん教えてもらう。	
2　ゲストティーチャーとの対面（自己紹介） ・氏名 ・年齢（約何年前に小学校３年生だったか） ・地域・担当する分野 （①土地・交通②建物③学校④くらし⑤食事） ・児童とのつながり等	○ゲストティーチャーと児童とのつながりに触れ，地域の協力体制を感じさせるとともに親近感をもたせる。 ○年表を用意し，年代や時代の大まかな感覚をつかませる。 ◆お住まいの地域を具体的にイメージさせ，親近感をもたせる。	
3　ルーブリックを共有する。 【本時のルーブリック】 ▲：インタビューをして，必要な情報を集める。 ○：インタビューをして必要な情報を集め，集めた情報を整理する。 ◎：インタビューをして必要な情報を集め，集めた情報を整理する。自分の思いや考えをもつ。		
4　グループごとにインタビューを行い，必要な情報を収集し，ワークシート「２調べよう③答え（分かったこと）」欄に記入する。	◆自分が担当している質問については，責任もって質問・メモを行うことを確認する。 ◆分かりにくいところは，どういうことか詳しく聞くよう促す。 ○質問に対する直接の回答以外も，必要に応じてメモを取ることを促す。 ○時間を意識できるよう各グループの進行状況を把握し，状況に応じた声かけを行う。	○知識及び技能① 【ワークシート】 【行動観察】
5　インタビューを終え，活動を振り返る。	○積極的にインタビューに取	

・感想やお礼の気持ちを伝える。 ・ゲストティーチャーの感想を聞く。	り組んだ児童を紹介する。 ○インタビューに向けたゲストティーチャーの準備等を紹介し，地域を思う気持ちを感じさせ，感謝の気持ちをもたせる。	
6　グループごとにインタビューを振り返り，質問に対する回答を整理したり，付随して得た情報を共有したりする。	○整理用のワークシートにまとめさせる。 ○担当者が聞き取ったことを述べた後に，メンバーから補足を求めたり，正誤を確認したりしながらまとめる。 ◆聞き取れなかったところはグループ内の友だちの聞き取りを基に整理させる。	○知識及び技能① 【ワークシート】 【発言】
7　本時の学習を振り返る。 ・自己評価 ・学習による成果や課題	○インタビューや整理したことを基に，自分が思ったことや考えたことを記述する。 ○ルーブリックに対応させる。	
8　次時の見通しをもつ。 ・次時では，他のグループとの交流を行い，互いの情報を共有する。		

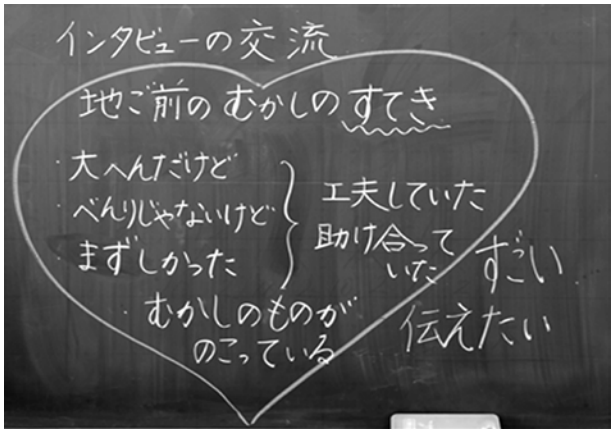
第 13 時

（1）本時の目標

調べたことについて，他のグループとの交流を通して集めた情報の共通点を見付けることができる。

（2）学習の展開

主な学習活動	指導上の留意点（○） 児童への支援（◆）	○評価 【方法】
1　前時を想起し，本時のめあてを確認する。 調べたことを他のグループと交流し，共通点を見付けよう。	○前時の学習の振り返りで，他のグループが収集した情報についても知りたいという意見が多数あった。	
2　ルーブリックを共有する。 【本時のルーブリック】 ▲：インタビューで集めた情報を交流する。 ○：基準▲に加え，交流による感想をもつ。 ◎：基準○に加え，共通点を見付ける。		
3　他グループのメンバーと交流を行い，自らが収集した情報を伝えたり，他グループが収集した情報を聞いたりする。	○主体的な交流を促すために，ジグソー学習の形態を取り入れる。	
4　他グループと交流した感想や，グループ（カテゴリー）が異なっても共通している点についてワークシートに記入し，話し合う。	○グループ（カテゴリー）が異なっても共通する部分があり，大きくはその共通点を「地御前のむかしのすてき」と捉えることができる。 ○昔の人の偉大さを共有し，発信への意欲を高める。	○よさに気付く力② 【ワークシート】 【発言】
5　本時の学習を振り返る。 ・自己評価 ・学習による成果や課題	○ルーブリックに対応させる。	
6　次時の見通しをもつ。 ・次時では，グループごとに調べたことを伝える相手や方法を決め，発信の準備へと進む。		



授業後の板書の一部

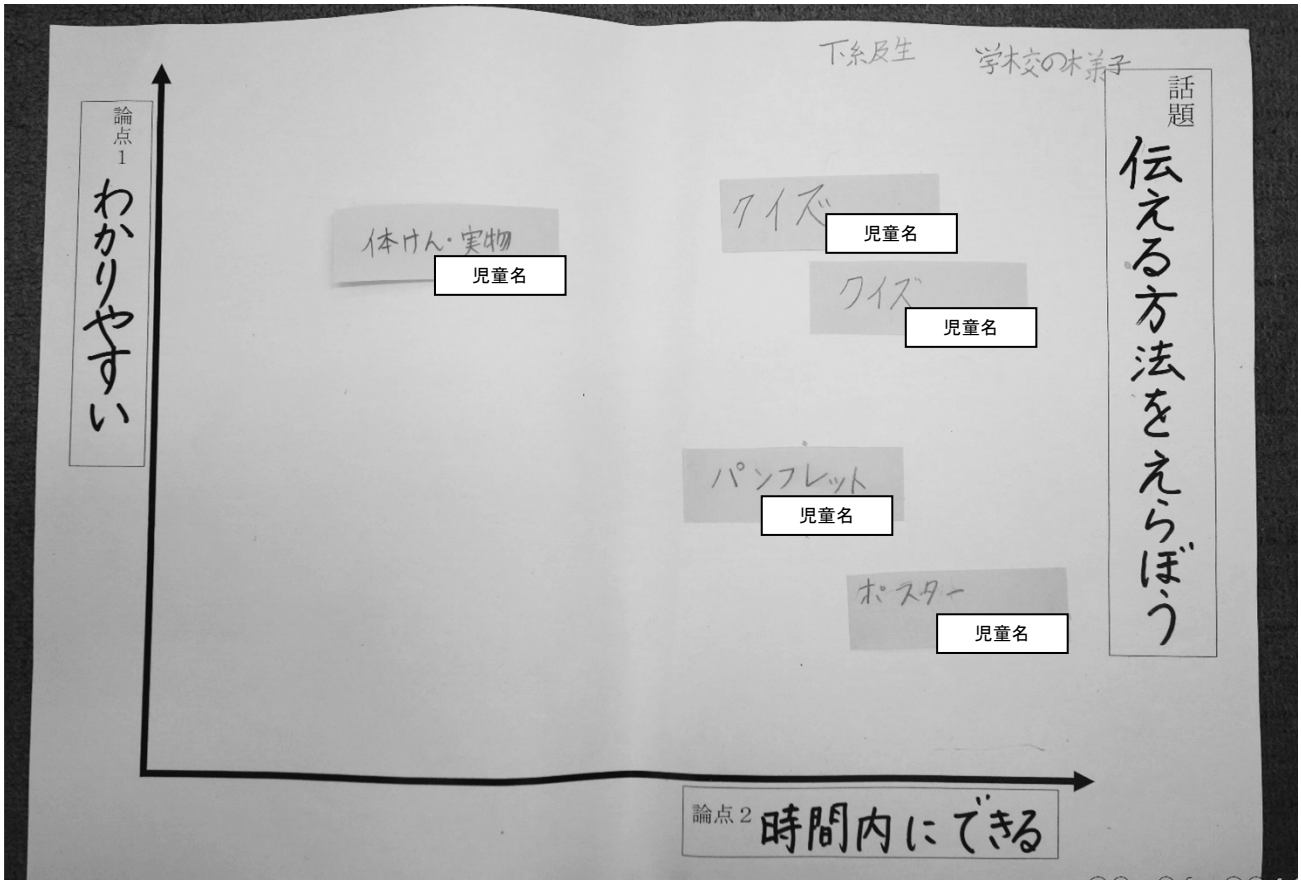
第 14 時

（1）本時の目標

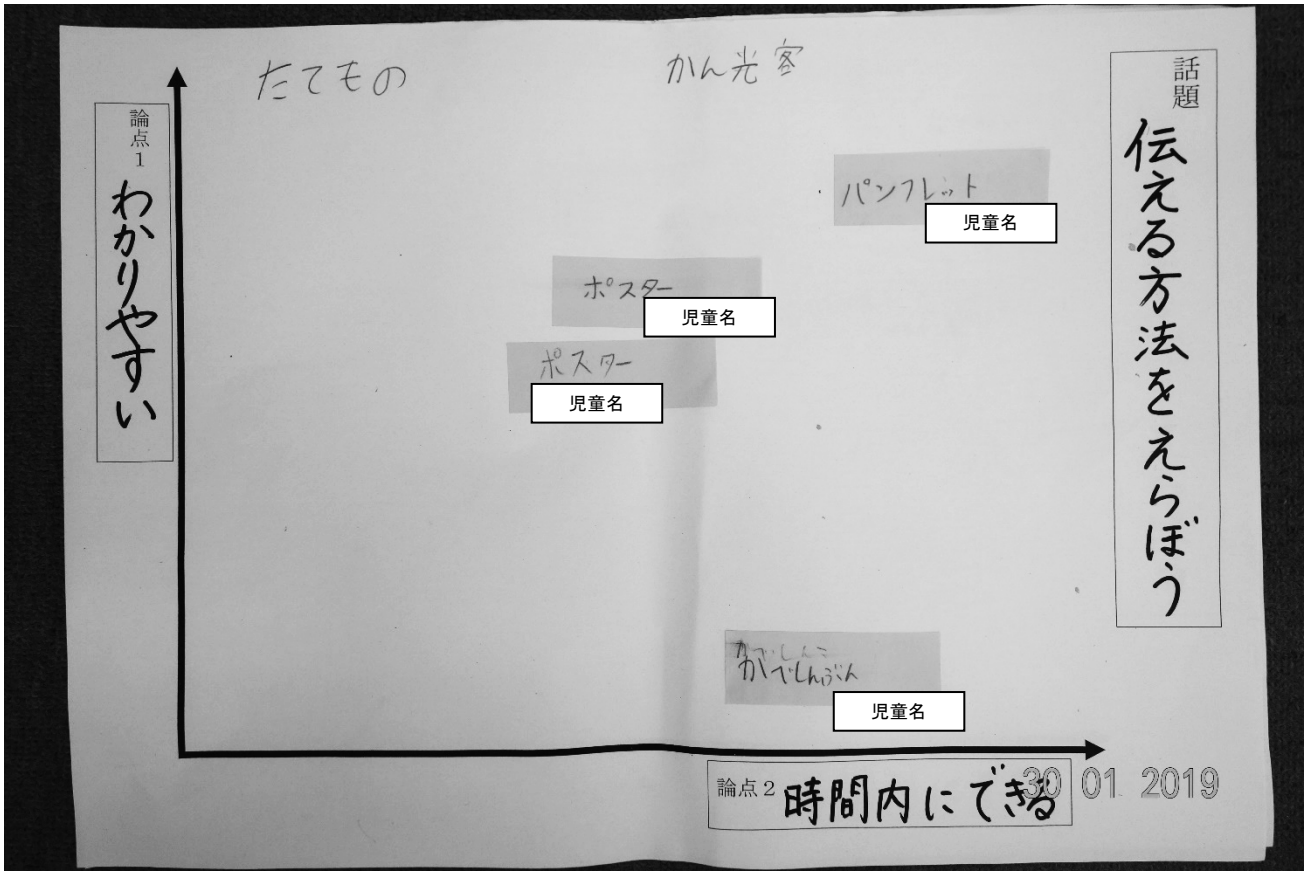
収集した情報を基に，各グループで発信先や発信方法を決定し，活動の目的を明確にすることができる。

（2）学習の展開

主な学習活動	指導上の留意点（○） 児童への支援（◆）	○評価 【方法】
1　前時を想起し，本時のめあてを確認する。 調べたことを伝える相手と方法を決めよう。	○他グループとの情報交流によって，地御前の昔のすてきが何かを見付けた。	
2　発信する相手や目的を想起し，発信する相手や方法を選ぶ際に気を付けることを話し合う。	○自分たちの見付けて伝える活動によって，地御前の昔のすてきを伝え続けるためには，自分たちが収集した情報について，知りたい相手，理解できる相手に発信することが大事であることに気付かせる。 ◆既習内容を振り返らせる。	
3　本時の進め方とともにルーブリックを共有する。 【本時のルーブリック】 ▲：相手や方法について自分の考えをもつ。 ○：基準▲に加え，理由を明らかにする。 ◎：基準○に加え，積極的に話合いに参加する。	○ルーブリックとワークシートの対応を把握させる。	
4　発信する相手について，理由とともにワークシートに記入し，それを基にグループで話し合い，決定する。	◆友だちの考えを取り入れて自分の考えを説明してよいことを確認する。	○思考力・判断力・表現力① 【ワークシート】 【発言】 【行動観察】
5　４で決めた相手に対する発信方法について，理由とともにワークシートに記入し，それを基にグループで話し合い，決定する。	○「相手にとって分かりやすい」「決められた時間内に準備ができる」の２点を視点として考えることを確認する。 ○話合いシートを活用することで視点を明確にし，話合いを活性化させる。	○思考力・判断力・表現力① 【ワークシート】 【発言】 【行動観察】
6　各グループで決定した相手や方法を全体で交流する。	○他のグループのよさを知り，自分たちのグループのその後の活動の参考にしてよいことを確認する。	
7　本時の学習を振り返る。 ・自己評価 ・学習による成果や課題	○ルーブリックに対応させる。	
8　次時の見通しをもつ。 ・次時では，発信に向けてまとめる活動に取り組む。	○各グループで，準備に必要な物の収集等も計画的に行うよう促す。	



話合いシートの一例（学校の様子について下級生に発信するグループ）



話合いシートの一例（建物の様子について観光客に発信するグループ）

第 15～21 時

（1）本時の目標

収集した情報を相手に分かりやすく伝えるために工夫して情報をまとめ，アドバイスし合って更に改善を重ねながら，発信に向けた準備をすることができる。

（2）学習の展開

主な学習活動	指導上の留意点（○） 児童への支援（◆）	○評価 【方法】
1　前時を想起し，本時のめあてを確認する。 むかしのすてきを分かりやすく伝えるために，工夫をして準備をしよう。	○グループごとに，収集した情報を発信する相手や方法を決定した。	
2　ルーブリックを共有する。 【本時のルーブリック】 ▲：友達のアドバイスによって伝え方を工夫する。 ○：伝え方を自分で工夫する。 ◎：基準○に加え，友達の伝え方についてアドバイスをする。		
3　グループで発表に向けた準備を行う。 《児童が決定した発信方法》 ・クイズ＋説明 ・説明＋クイズ ・すごろく式クイズ ・紙芝居＋説明＋模型 ・ポスター＋説明 ・パンフレット＋クイズ ・リーフレット＋説明 ・壁新聞＋説明＋動作 ・壁新聞＋クイズ	○相手に分かる内容になっているか，内容が正しく伝わるかを意識させる。 ◆グループ内のメンバーに，分かりやすさについて意見をもらえるように促す。 ○相手の立場に立って自己チェックさせる。 ◆困ったときや不安なときは，メンバーと相談しながら進めるよう促す。 ○曖昧な情報や不足する情報は追加で調べ活動をさせる。	○思考力・判断力・表現力② 【成果物】 【行動観察】
4　本時の学習を振り返る。 ・自己評価 ・学習による成果や課題をワークシートに記入する。	○ルーブリックに対応させる。	○思考力・判断力・表現力② 【ワークシート】
5　次時の見通しをもつ。 ・次時では，発表の練習に取り組む。	◆グループ内の進捗状況を把握し，限られた時間の中で各グループが計画的に活動を行うよう，活動の見通しを確認する。	

第 22～24 時

（1）本時の目標

相手に分かりやすく伝えるために必要な事柄を意識して発表の方法を工夫して練習したり，アドバイスし合って更に改善を重ねたりすることができる。

（2）学習の展開

主な学習活動	指導上の留意点（○） 児童への支援（◆）	○評価 【方法】
1　前時を想起し，本時のめあてを確認する。 みつけたむかしのすてきを，相手にとって分かりやすく伝える練習をしよう。	○相手にとって分かりやすく伝えるための準備に取り組んできた。	
2　相手にとって分かりやすく伝えるために必要なことを話し合い，ルーブリックを共有する。 【本時のルーブリック】 ▲：声の大きさ・話す速さに気を付ける。友達のよいところを見付ける。 ○：基準▲に加え，相手を見て伝える。友達のよいところに加え，気を付けるとよいところまで見付ける。 ◎：基準○に加え，友達にアドバイスする。	◆なぜ分かりやすくする必要があるのかを考えさせる。 ○話し合いながら，児童とともにルーブリックの基準を設定し，共有していく。	
3　発信するための練習に取り組む。 （個人→グループ→アドバイス→改善）	○パンフレットやポスターの類で発信するグループについても，拡大コピーによって資料を大きくするなどして，大勢の対象を相手に発信できるように支援する。	○思考力・判断力・表現力② 【行動観察】 【成果物】
4　同じカテゴリー内の２グループがペアとなって練習に取り組む。 （発表→アドバイス→改善）×２ ・必要に応じて改善のために必要な作業等を行う。	○ペア練習を有意義にするために，発表する側のグループは発信相手を明らかにして練習を披露し，アドバイスする側は相手になったつもりで発表を聞き，アドバイスを行うことを確認する。 ○発表やアドバイスについて，参考になるグループや児童を紹介し，互いに取り入れやすいようにする。	
5　本時の学習を振り返る。 ・自己評価 ・学習による成果や課題をワークシートに記入する。	○ルーブリックに対応させる。	○思考力・判断力・表現力② 【ワークシート】
6　次時の見通しをもつ。 ・グループごとに発表を行った後，次時では単元全体を振り返る。	○発表については，訪問先の学級等との連携により，感想や評価を直接もらうよう依頼しておく。	

第 25・26 時

（1）本時の目標

単元全体の学習を振り返って成果や課題に気付いたり，今後の学習について見通しをもったりすることができる。

（2）学習の展開

主な学習活動	指導上の留意点（○） 児童への支援（◆）	○評価 【方法】
1　前時や発信の活動を想起し，本時のめあてを確認する。 学習をふり返って，よかったところやよくするところ，これからの取組を考えよう。	○発信の活動について感想を共有する。 ○本時では，単元全体の振り返りを行うことを共有する。	
2　ルーブリックを共有する。 【本時のルーブリック】 見通しをもって解決する力 ▲：達成できたかどうかとその理由が言える。 ○：基準▲に加え，うまくいった活動・いかなかった活動とその理由が言える。 ◎：基準○に加え，どう役立つかが言える。 課題を見付ける力 ▲：友だちの考えを基にこれから取り組むことを見付ける。 ○：これから取り組むことを見付ける。 ◎：基準○に加え，理由までを見付ける。	○本時の流れと振り返りカードとを対応させながら行う。	
3　単元全体の学習活動を想起する。	○画像を提示しながら単元全体の学習活動を具体的に想起させる。 ○ワークシートや成果物を参考にすることを促す。	
4　見通しをもって解決する力について振り返り，全体で交流する。（個人→全体）	◆交流では，友だちの意見の参考になる点を取り入れて自分の考えをもつよう促す。 ○結果だけでなく，結果につながる活動の工夫や効果についても気付かせる。	○見通しをもって解決する力② 【振り返りカード】 【発言】
5　課題を見付ける力について振り返り，全体で交流する。（個人→全体）	◆４に同じ ○４に同じ	○課題を見付ける力② 【振り返りカード】
6　グループ内で相互評価をする。	○グループで机を合わせた両隣のメンバーに対し，カードに頑張っていた点とアドバイスを記入して渡し合う。	【発言】 ○よさに気付く力① 【友だちへのカード】
7　本時の学習を振り返る。 ・自己評価 ・学習による成果や課題	○ルーブリックに対応させる。 ○単元全体に関する感想を自由に記述させる。	
8　次時の見通しをもつ。 ・次時では，指導者との対話を個別に行う。		

第 27 時

（1）本時の目標

単元全体を振り返って明らかにした成果や課題について指導者と対話することにより，自らの学びの価値を自覚したり，今後の学習への見通しをもったりすることができる。

（2）学習の展開

主な学習活動	指導上の留意点（○） 児童への支援（◆）	○評価 【方法】
1　前時を想起し，本時のめあてを確認する。 自分の学習を振り返って先生と話し合うことで，自分のがんばりに気付き，この学習をこれからどう生かせるか考えよう。	○前時では振り返りカードを使って単元の学習全体を振り返った。 ○本単元の学習によって目指した力の育成と対話との関係を理解させる。	
2　これまでのワークシートや成果物，振り返りカードなどを基に，特に自分が頑張ったと思う点とその理由，学習する中で自分に対してよいなと思った点を挙げておく。	○限られた時間で効果的な対話としてくために，予め視点を示し，児童に考えをもたせておく。 ○考えの根拠となるワークシート等にマークをさせ，共有しやすくする。	
3　指導者と学習者による個別の対話を行い，成果や今後の学びに対する見通しを共有する。	○指導者２名体制とする。Ｔ１は児童と１対１の対話を実施し，Ｔ２は，対話を行う児童以外が行う学習のまとめに対して指示・指導を行う。 ○肯定的な児童感に立って，個々の学びの成果や課題とともに，学びに向かう姿勢を評価しフィードバックする。 ○個々のワークシートや成果物，振り返りカードなどの具体的な記述や記録，活動中の具体的な場面を挙げるだけでなく，それが今後どのような力につながるのかを伝えることで，今後の学習に対する意欲を高める。 ◆具体的に振り返ることが難しいと思われる児童については，特に心に残っている学習の場面を想起させ，その根拠を聞き出しながら，成果や今後の見通しについて共有していく。	○見通しをもって解決する力② 【振り返りカード】 【過去のワークシート】 【対話】 ○課題を見付ける力② 【振り返りカード】 【過去のワークシート】 【対話】
4　対話を基に，成果や今後への見通しを学級全体で共有する。	○本単元の学習は３学期の学習へとつながっていくことを確認する。 ○できたことやできなかったことだけでなく，どのように学習を進めたか，今後の学習にどう役立てるかを大切にすることが，今後の学ぶ力の高まりに寄与することに気付かせる。 ○児童の学ぶ姿や指導者の想定を超えた取組を賞賛する。	

第１・２時のワークシート

地ごぜんのすてきをみつけよう　パート２	3年　組　番
じごぜん小学校　めあて	名前
	月　日　曜日

自分や学級の学習をふりかえって

地ご前の今とむかしの ちがいやふしぎ	しらべたいこと	自分たちの役目

チェック　▲（ちがい・ふしぎ）　○（▲+調べたいことまたは役目）　◎（▲+調べたいこと+役目）

第３時のワークシート

地ごぜんのすてきをみつけよう　パート２	3年　組　番
じごぜん小学校　めあて	名前
	月　日　曜日

自分や学級の学習をふりかえって　ふりかえりレベル【　】

「地ご前のすてきをみつけようパート２」で取り組むこと

①なぜ，「むかしのすてき」をみつけてつたえるのか	②どのように役立つのか

チェック　▲（友だちから①と②）　○（自分で①か②+友達から①か②）　◎（自分で①と②の両方とも）

第４時のワークシート

地ごぜんのすてきをみつけよう　パート２	3年　組　番
じごぜん小学校　めあて	名前
	月　日　曜日

自分や学級の学習をふりかえって　ふりかえり【　】

①どんな活動が必要かな	②学習の計画

チェック　▲（①0~2こ）　○（①3~4こ）　◎（①5こいじょう）

第５・６時のワークシート

地ご前のむかしのすてきをみつけて伝えよう	3年　組　番
じごぜん小学校　めあて	名前
	月　日　曜日

自分や学級の学習をふりかえって　ふりかえり【　】

①伝える相手（だれに）	②伝える方法（どんな方法で）	③理由（どうしてその方法がよいのか）

チェック　▲（①+②）　○（①+②+③）　◎（①+②+くわしい③）

第７～９時のワークシート

地ご前のむかしのすてきをみつけて伝えよう	3年　組　番
じごぜん小学校　めあて	名前
	月　日　曜日

1　調べる分野	

2　調べたいこと（インタビューしたいこと）

3　調べたいことをグループで整理しよう

チェック　▲（1～3こ）　○（4こ以上）　◎（4こ以上＋整理）

自分や学級の学習をふりかえって　ふりかえり【　】

第 10・11 時のワークシート

地ご前のむかしのすてきをみつけて伝えよう	3年　組　番
じごぜん小学校　めあて	名前
	月　日　曜日

1　調べる分野　　のようす

2　調べよう【①しつ問　→　②予想　→　③答え（わかったこと）】

番	①　しつ問	②　予　想	③　答え（わかったこと）
1			
2			
3			
4			
5			

チェック　▲：友だちから予想　○：予想＋インタビューの工夫　◎：○＋アドバイス

自分や学級の学習をふりかえって　ふりかえり【　】

第 12 時のワークシート

地ご前のむかしのすてきをみつけて伝えよう	3年　組　番
じごぜん小学校　めあて	名前
	月　日　曜日

1　整理しよう　　のようす

番	しつ問	答え（わかったこと）
1		
2		
3		
4		
5		

2　ふりかえり

インタビューをして思ったこと・考えたこと

チェック　▲：インタビューする　○：▲＋整理する　◎：○＋思ったこと・考えたこと

第 13 時のワークシート

地ご前のむかしのすてきをみつけて伝えよう	3年　組　番
じごぜん小学校　めあて	名前
	月　日　曜日

自分のたん当　　むかしの（　　）の様子について

1　インタビューで聞き取ったことをほかの分野の友だちと交流しよう

2　交流をして思ったことを書こう

3　ほかの分野の友だちと交流して，にていたことや共通していたことをみつけよう

4　ふりかえり

チェック　▲：交流する　○：▲＋感想　◎：○＋共通点

今日の学習でがんばったことや思ったこと　【　】

第 14 時のワークシート

地ご前のむかしのすてきをみつけて伝えよう		3年 組 番
じごぜん小学校	めあて	名前 月 日 曜日

自分のたん当　むかしの（　　）の様子について

1　調べたことを伝えたる相手を決めよう

①自分の考え　相手 ：

理由：

②グループで決まった相手　相手 ：

2　伝える方法を決めよう

①自分の考え　方法 ：

理由：

②グループで決まった方法　方法 ：

3　ふりかえり

チェック　▲：自分の考えをもつ　○：▲＋理由をもつ　◎：○＋せっきょくてきに話合いに参加

今日の学習でがんばったことや思ったこと　【　】

第 15～24 時のワークシート

地ご前のむかしのすてきをみつけて伝えよう	3年 組 番 名前

月／日 じごぜん小学校	めあて	チェック	ふりかえり	サイン
／		◎ ○ ▲		
／		◎ ○ ▲		
／		◎ ○ ▲		
／		◎ ○ ▲		
／		◎ ○ ▲		
／		◎ ○ ▲		

地御前のすてきをみつけよう　パート２　ふり返りカード

３年(　　)組(　　)番　（　　）

地御前のむかしの［　　］について，

［　　］に伝える。

見通しをもって解決する力

1 「地御前のむかしのすてき」をみつけて伝えることができましたか。

▲ あまりできなかった　　○ できた　　◎ すごくできた

その理由

2 「地御前のむかしのすてき」をみつけて伝えるための活動について

① うまくいった活動　【　　】

その活動がうまくいったのはなぜだろう

② うまくいかなかった活動　【　　】

その活動がうまくいかなかったのはなぜだろう，どうしたらよかっただろう

3 この学習をしたことは，あなたにとってどのように役立つと思いますか。

課題を見付ける力

4 これから，さらに「地御前のすてき」をみつけるために，どんなことをしていけばよいと思いますか。

その理由

5 グループの友達から（がんばっていたところやアドバイスを伝え合おう）

6 チェックしよう

見通しをもって解決する力	▲	○	◎
課題を見付ける力	▲	○	◎

7 この学習をふり返って，感想を書きましょう